

令和 6 年度学校組織マネジメント研修 実施要項

1 目 的

学校は、校長のリーダーシップの下、カリキュラム、地域との連携、学校の資源等が一体的にマネジメントされ、教職員や学校内外の多様な人材が、それぞれの専門性を生かして能力を発揮する場である必要がある。

本研修では、各学校や当該地域において指導的な役割を果たすべく、1) 学校ビジョンの構築、学校教育目標の具現化をマネジメントする専門的知見を活用し、組織的な取組を推進する力、2) 各学校や当該地域において、教職員の専門性向上を推進する力、を育成する。

2 主 催 独立行政法人教職員支援機構

3 共 催 文部科学省

4 期 間 令和 6 年 9 月 24 日（火）～令和 6 年 9 月 26 日（木）

5 実施方法 Web 会議サービスを用いた同時双方向通信によるリアルタイム・オンライン研修
（「Zoom ミーティング」（株）Zoom ビデオコミュニケーションズ）等を使用）

6 配信元 独立行政法人教職員支援機構 つくば本部

7 標準定員 200 名

8 参加者

(1) 参加資格

ア 都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者

イ 幼稚園の園長及び副園長、並びに小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭及び教諭等であって、各学校（園）や当該地域において本研修の内容を踏まえて指導的な役割（研修の企画・立案・実施・評価等を含む）を果たす者

ウ 当機構の修了証書をもって単位認定を行う（予定を含む）教職大学院の学生のうち、教職経験のある者

※「第 5 次男女共同参画基本計画」（令和 2 年 12 月 25 日閣議決定）を踏まえ、本研修における女性教職員の割合を 25%以上とすることを、当機構として目標としている。女性の積極的な推薦について配慮すること。

(2) 推薦人数

各都道府県教育委員会においては 2 名程度とする。各指定都市教育委員会、各中核市教育委員会、各都道府県知事部局、附属学校を置く各国公立大学、国立青少年教育振興機構等においては 1 名程度とする。なお、中核市を複数有する都道府県においては、各中核市からの推薦数を 1 名以内とした上で、上記基準を超過して推薦できるものとする。ただし、超過は各中核市から推薦があった人数分に限る。

(3) 推薦手続

推薦期限は、令和6年8月9日(金)とする。

推薦する機関においては、候補者を取りまとめて「研修システム」により推薦を行う。ただし、中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修システム」により推薦を行う。

(4) 参加者の決定

推薦する機関からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。ただし、標準定員を超過する場合は、参加者数を調整することがある。そのため、「研修システム」により推薦を行う際に、候補者毎に推薦順位を入力すること。

9 研修内容

別紙1「日程表」のとおりとする。

10 事前課題

(1) 研修成果活用計画書の作成

参加者及び所属長は事前に「研修成果活用計画書」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法等については、参加者決定時に別途連絡する。

(2) その他の事前課題

その他の事前課題がある場合は、参加者決定時に別途連絡する。

11 研修成果の活用

(1) 研修成果の活用レポートの作成

参加者は、研修終了後1年程度の期間を経た後に「研修成果の活用レポート」を作成し、提出すること。なお、様式、提出方法については、参加者決定時に別途連絡する。

(2) 研修成果の活用についての報告と推薦者の配慮事項

研修終了後1年程度の期間を経た後、参加者は、研修成果の活用状況（研修企画、研修講師、他校訪問等）についてのアンケートに回答し、報告すること。また、推薦者は、研修修了者に対し、研修成果を効果的に活用する機会の提供、確保等の配慮をすること。

12 その他

(1) 所定の課程を修了した参加者には、修了証書を授与する。参加者推薦の際に、必ず参加者の氏名を確認し、正確に記入すること。

(2) 本研修では、「Google Workspace」を利用する。利用に際し、Google アカウントや簡易マニュアルは当機構で作成し、参加者決定時に連絡する。

(3) 本研修では、Web 会議サービス「Zoom ミーティング」（(株)Zoom ビデオコミュニケーションズ）を用いて同時双方向通信を行う。参加に当たっては、当該ソフトウェアのインストールやインターネット通信環境の確保の他、相互に音声・映像をやりとりする協議等ができるよう、音声マイク・Web カメラ等の必要機器を備えた端末を、1人1台準備すること。

(4) 参加者が研修に専念できるよう、推薦者には適切な参加環境及び研修時間の確保等、特段の配慮

をお願いします。

- (5) 「全国教員研修プラットフォーム(以下、「プラットフォーム」という)を利用している自治体からの参加者に関しては、プラットフォームへの本研修の修了状況の登録を当機構で行う。

登録に当たって、参加者のプラットフォームログイン ID が必要となるため、プラットフォームを利用している自治体は、推薦を行う際に研修システムより候補者毎にプラットフォームログイン ID を入力すること。

- (6) 本研修の参加に際し、特別な配慮が必要な者（障害、持病等）を推薦する場合には、事前に当機構に相談すること。

令和6年度 学校組織マネジメント研修 日程表

	9:00	9:30	12:15	13:15	15:00	16:00	16:30	
9月 24日	開講にあたって	(第1講)150分＋休憩15分 講義・演習		昼 休 憩	(第2講)150分＋休憩15分 事例発表・協議		リ フ レ ク シ ョ ン	
		学校教育の質保証としての学校経営改革の動向			学校づくり事例			
		国土舘大学 教授 北神 正行			事例発表① 加須市立大桑小学校 主幹教諭 新井 宏美	事例発表② 小郡市立三国中学校 教頭 迫脇 健一郎		解説 国土舘大学 教授 北神 正行
9月 25日	受付	イントロダクション	(第3講)150分＋休憩15分 講義・演習		昼 休 憩	(第4講)150分＋休憩15分 講義・演習		リ フ レ ク シ ョ ン
			やる気を引き出すヒューマンリソース・マネジメント			カリキュラム・マネジメントの質向上に向けた 学校組織マネジメント		
			早稲田大学 教授 河村 茂雄			上越教育大学 教授 安藤 知子		
9月 26日	受付	イントロダクション	(第5講)150分＋休憩15分 講義・演習		昼 休 憩	(第5講)90分＋休憩15分 講義・演習	(第6講)60分 演習	閉講にあたって
			学校組織マネジメントの実践に向けて ～学校の戦略マップを作る～			学校組織マネジメントの実践に向けて ～学校の戦略マップを作る～	研修の総括	
			環太平洋大学 教授 浅野 良一			環太平洋大学 教授 浅野 良一	教職員支援機構	

※ 1日目の入室開始は8時45分です。

※ 2日目、3日目の入室開始は、9時からとし、朝のミーティングを9時15分から始めます。

※ 講義の途中に15分程度の休憩を入れます。